

あきる野市

平成18年(2006)3月31日

第8号

町・自連会報

発行/平成18年3月31日 発行者/青木旦治 編集/あきる野市町内会・自治会連合会会報部会



地域の安全と町内会・自治会

あきる野市町内会・自治会連合会会長 青木旦治

十年以上前までは、安全と言えば、生産工場の敷地内に必ず見受けられた緑十字と「安全第一」という標語に象徴されるところの職場の安全が主体でありました。また地域の安全では、「交通安全」が身近に標榜された安全でありました。現在は、「防犯」と同意義になっております。東京都は平成十四年の認知全刑法犯数が三十万件を超えたことに鑑み、「東京都安全安心まちづくり条例」の策定作業に着手、都議会を経て、平成十五年十月一日に施行しました。この条例の目的は、犯罪抑止にあります。中でも特徴的な事項は犯罪情報の開示を求めている点であります。従来、犯罪情報の開示は、捜査の障害になるとの理由で控え目であったのを可能な限り犯罪情報を開示することにより都民の防犯意識を高めるよう主張していることであり

ます。五日市警察署においても、「犯罪ニュース」を発行し、犯罪事例とその犯行手口を記載して管内全戸に配布しております。このことは市民の防犯意識高揚に多いに役立っているものと思えます。あきる野市の「安全安心まちづくり条例」は平成十六年九月に市議会にて可決され、平成十七年一月一日に施行、条例に基づき、同年二月四日に「あきる野市安全安心まちづくり協議会」が発足しております。地域の防災については、自然災害発生時の被害を最小限に食い止めようとする市の防災全体計画が、過日市の「防災会議」で示されました。これが執行される機会が来ないことを祈るばかりです。ところで、狙われて発生する犯罪では、最近の女児誘拐・殺害という衝撃的な事件の発生に市民は大きな関心を

持っています。地域の安全は防災、防犯活動によって確保されるものですが、最近の犯罪は、気力的、体力的に弱い立場の人々が狙われており、卑劣と云わざるを得ません。東京都について平成十二年から平成十六年の五年間で比較すると全刑法犯数は減少しているにもかかわらず、知的犯(詐欺など)数は二・七倍(警視庁資料)に増加しており、高齢者が被害を受けた「振り込め詐欺」と「リホーム詐欺」の増加であります。児童の安全確保については、既に町内会・自治会単位で、実施されているところであり、更には効果的・効果的な持続性のある方法の検討及び隣保体制内のきめ細かい共同作業を組織単位で検討して行く必要があるのではないかと存じます。

日誌

平成十七年十月五日 あきる野市花いっぱい運動推進協議会(正・副会長、知識経験者等で構成)は、埼玉県深谷市へ花の植栽・緑化について、研修を行いました。
十二月十九日 あきる野市学童犯罪防止会議 ふれあいセンターで開催 広島、栃木での学童に対する凶悪犯罪の発生に伴い、学童の登下校時の通学路の見守りについて、教育委員会の主催により開催され、町内会長・自治会長・学校関係者多数の出席がありました。
●この会議の要請をうけて、町内会では、ポスターを作成して掲示し、啓発活動を行っています。

平成十八年一月四日 あきる野市賀詞交歓会 ルピア・ホール 田中市長・青木連合会長等の年頭の挨拶があり、町内会長・自治会長が、出席しました。
一月八日 平成十八年消防団出初式 小和田グラウンドで挙行され、日頃から市民の防火・防災に努める団員に、市長・連合会長から訓示・挨拶があり、連合会から役員・理事が出席しました。
一月二十日 平成十八年の町内会長・自治会長の新年顔合わせ会を、ルピア・ホールで、開催しました。
二月六日 第十一回あきる野市民スポーツ・レクリエーション大会第一回実行委員会 中央公民館で開催 正・副会長出席。
開催日は、平成十八年五月十四日(日)都立秋留台公園で開催。雨天の場合は、五月二十一日(日)に延期。
I-T部会 十七年度のI-T研修は、八十五名が参加して、十二月をもって終了。
会報部会 一月二十七日、部会を開催、原稿収集、編集作業、年度内に発行。
(土士田)

西多摩地区消防操法大会で「優勝」第六分団

あきる野市消防団第六分団は、本部・一部・二部の三体制制。四十名の団員で編成され、戸倉地区の在住者で構成されています。
出動範囲は、小中野番地及び戸倉全域と乙津・養沢番地までです。この地域は、山林が多いため、隔年で山林火災を想定した訓練を実施しています。
昨年は、六月十二日あきる野市消防団操法大会に出場、九月十七日には、西多摩地区消防操法大会で第六分団第二部が小型ポンプの部で優勝を成し遂げました。春先まだ雪のちらつくころから暑さ厳しい時期まで訓練した結果の賜ものと思えます。
また日頃より地域の皆様のご理解、ご協力があったからこそ良い成果が残せたと思います。私たちは防火防災活動の他に毎年行われる戸倉小学校の運動会で子供たちの応援をかねて綱引き・騎馬戦などに参加し、また消防操法と色粉を混ぜた水での放水を披露しています。
今期は、第六分団管内では、火災・災害出動はありませんが、日頃より車両・器



具・装備。また消火栓・水利等の点検、確認を実施し、有事に即応できる万全な体制に努めています。
これからも地域の皆様と一体となって、日々予消防防・防火訓練を行い地域防災の要として信頼されるよう精進して参ります。ご理解ご協力のことをお願いいたします。
(あきる野市消防団第六分団 分団長 富沢博道)

編集後記

あきる野市は、昨年末から防災無縁で児童下校時の見守りを市民に呼びかけている。防犯活動には関心の薄かった地域も、町内会・自治会が中心になって通学路での立哨やパトロールを始めている。一年半前の連合会会議で、防犯活動を活発に行っている地域と、そうでない地域との温度差解消策について議論したことがあった。
昨年おきた広島・栃木の少女誘拐殺害事件が、あきる野市の防犯活動活性化の起爆剤になるとは何とも複雑な思いがする。
最近の連合会会議は活発な意見が飛び交う。会報の役割が、連合会の活動を広く市民に伝える事にあるならば、市民が読みたくなる会報を編集するのは会報部会の使命であり、私達の議論が尽きない由縁でもある。会報八号はそんな思いでお届けします。
(石井 一)

町内会・自治会紹介 森山・小中野

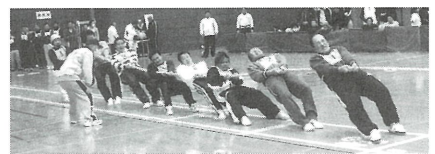
明るく、楽しい、元気な町

森山町内会は多摩川と平井川が交わる最先端に位置します。長い歴史のあった「森山の渡し」も今は廃止となり、多摩川を越え福生市からあきる野市へ渡る大橋が多摩橋で五日市街道の重要な橋梁です。橋を渡ると右手に森山神社があり、道を行交う人々は等しく歩を止め合掌しています。少し神社を坂上ると市指定「白石の井戸」や「福寿庵の井戸」など清水が湧き自然の豊かさを示しています。この様な豊かな環境の中で整備された公園や会館などは子供達や高齢の方々が安心して安全な遊び場として語り合い憩いの場として利用されています。

町内会の合い言葉は明るく、楽しく、元気のある町を目指しています。年間行事は新年会から始まり、どんど焼き、御輿や盆踊り、更には敬老の日、花いっぱい運動に趣向をこらし多くの方の参加により実施しています。

活気ある町づくりのためスポーツ活動に力を入れていきます。スポ・レクや青少年運動会では優秀な成果をあげています。むかで競走や綱引き(写真)等が代表されます。特に多くの人が力を合わせ結果をだす団体競技の面白さ、楽しさに関心を持っています。森山ソフトボール会などの活動は汗を出し合い幸せを得る。こんなことを考えながら楽しんでるのが森山町内会です。

特に文化面や伝統面では「森山はやし保存会」や「森山神輿会」の方々の積極的な取り組み、保存の努力は町全体を活気づけています。神社の祭礼や市主催(文化祭)の演技は森山の伝統や歴史を今に引き継いでいます。



この様に良い伝統は維持し新しい文化への取り組みも積極的です。

住んで良かった!自治会に

小中野自治会は武蔵五日市駅から西に一・五キロ程のところ、自治会内の中央を東西に走る松原街道沿いの街路樹「百日紅の花」は、素晴らしいです。秋川の北側に住宅地が形成されていて、ほぼ全世帯に当たる三百三十四世帯が自治会

に加入しています。小中野自治会は平成十六年三月迄は、上・下小中野の二つの自治会に分かれていました。しかし、二つの自治会は、同一の神社を鎮守とし、各種行事も一緒に行うなど、地域間の垣根を取り除いて手を取り合って事業を展開してまいりました。

このような中での両自治会の合併でしたが、いざ合併となると大変で自治会の組織の問題や、市からの補助金などの減収が問題となりました。減収の対策としては簡易保険払い込み団体への加入や資源集団回収(年六回)の取り組みを行うことにより補うことになりました。

誕生して二年経過しましたが、とくに問題になる事もなく、合併前と同様いろいろな事業がスムーズに行われ、地域の輪が広がり良かったと思っています。自治会の諸問題や行事の立案などは、会長、副会長及び理事八名で毎月理事会を開催し「住んで良かった小中野」を目指して活動しています。

自治会行事では、八月の秋川で「マスのつかみ取り」や、十月の「敬老の集い」、紅葉時の「歩こう会」などがあります。また、地域防犯活動として、夜は門灯、玄関灯を点けて地域を明るくし犯罪被害の無い自治会をめざしています。自治会をめぐっています。自治会の出来事は毎月「自治会だより」を発行しお知らせしています。



あきる野市町内会・自治会連合会役員協議事項

平成十七年

- 十月二十一日 十八年度新年懇親会の予定について。
- 十一月役員会の予定について。

● 一泊視察研修会計画の経過報告。

- 各地区報告・各部会報告。
- 市からの連絡事項
- 一、秋の一斉清掃、資源回収事業参加について。
- 二、あきる野市生涯学習支援者バンク登録者名簿。
- 三、防災市民リーダー研修会について。

十一月二十日

- 連合会の今後の予定。
- 行政配布物受納箱の補充購入について。
- 日帰り研修会について。
- 各地区報告・各部会報告。
- 市からの連絡事項
- 一、確定申告の相談日程の回覧について。
- 二、社会福祉協議会 社協 会員募集等事業報告及び歳末たすけあい募金等に

ついて。

- 三、敬老行事の補助金の交付時期について。
- その他諸連絡

平成十八年

- 一月十三日 十八年度新年懇親会について(役割分担等)。
- 十八年二月の連合会全体会の開催について。
- 日帰り研修会について。
- 各地区報告・各部会報告
- 市からの連絡事項
- 一、子供安全対策連絡会
- 二、ふれあい福祉委員等各委員の推薦について。

一月十八日

- 町内会・自治会全体会
- 各部会報告
- 十八年度町内会・自治会連合会の総会までの予定。
- 本年度日帰り研修中止の件
- 三、十七年度連合会会計仮決算について。
- 十八年度連合会定期総会について。
- その他



会報部会



全体会

会報雑感

平成十一年四月、あきる野市誕生から四年六ヶ月を経て町内会・自治会が統合されたことに伴って円滑な連合会を推進するため「検討委員会」が設置され、平成十三年度の検討委員会報告書に「会報」の発行を提示されました。

平成十四年九月創刊号として全町内会・自治会員との情報還元のための媒体として、同質、同量の情報を広く提供するために発行し、今回発行をもって「八号」となりました。「検討委員会」のまとめの中にも町内会・自治会の紹介の項目があり「二号」から「四号」には、七地区の治世の紹介を掲載し、「六号」から「八号」には、各町内会長・自治会長に原稿を執筆していただき、各会長には、大きな協力をいただいています。それは、会報を読んでもいただくための編集方法と考え、部会で議論をしたもので、最近の編集会議は活発です。

また、会報誌の発行には、

あきる野市世帯数

31,083世帯 自治会
町内会加入世帯数
19,823世帯

あきる野市世帯数
2月15日市広報より

共通の悩みがあります。平成十六年十一月には、福島県郡山市「安積町自治会長会」と、会報の発行について、どうしたら読んでもらえるかという点について意見交換会を行いました。確かな答えは、ありませんでした。読んでもらえる会報を作ることが永遠の課題というのが結論でしたが、会報を通じて共通の課題を提示し地域の活性と融和に役立つ会報をめざして地道な努力が必要と考えられます。

町・自連会報については、「使ってはいけない言葉」と「誤字」のないことに特に注意してきました。会報について、近隣の団体から事務局には、問い合わせがあったと聞きます。文字で表現することの難しさを通感します。(会報部会代表 土士田一男)